

# 日本僑報社企画センター設立

## 日中留学経験ある政治家フォーラム発足、 『戦後日本』刊行等企画を発表

日本僑報社がこのほど「企画センター」設立を宣言し、同社総編集長兼センター主任・段躍中氏が3月27日に東京で10の企画を紹介した。

日本僑報社は、日中交流を促進し相互理解を深めることを目的として在日新華僑が創設した出版社であり、創業以来10年、中日両国に広く影響を与えるような斬新なアイデアを提示し続けてきた。例えば1998年出版の『在日中国人大全』、世界初の「日中交流研究所」の設立と、同時に中日両国で開催した作文コンクールなどである。

日中間の政治関係が最も困難なこの時期に、中日両国の人々の相互理解と友好交流のため、また、来る2007年日中国交正常化35周年に向けて、あるいは日中民間交流を促進することにより政治関係の発展を促そうと、日本僑報社は「企画センター」設立し、以下のような10の企画を提案した。

1. **日中の留学経験のある政治家のフォーラムをつくる。**年一度、北京あるいは東京でこれら日本への留学経験のある中国人政治家と、中国への留学経験のある国会議員が参加する討論会を行い、日中関係改善案を探るべく、討論を行う。

2. **日中女性記者フォーラムをつくる。**現在活躍中の女性記者、特に大手メディアの北京・東京駐在女性特派員や特約記者に、斬新な視点で、日中関係改善と報道の役割を検討してもらう。

3. 『留日中国人博士名録』など、留学生の成果を記録するような大型目録の編集出版。

4. 『在華日本人大全』の編集出版。『在日中国人大全』に相對するものとして、在華日本人の活躍情報を記録する。

5. 『日中交流年鑑』を編集出版し、多彩になってゆく交流の成果を詳細に記録する。

6. **日中対訳版『日中公論』**など、ハイレベルの雑誌を創刊し、両国の学者や研究者などに参加してもらい、日中関係の行く先について討論する。

7. すでに行っている中国の大学生の日本語作文コンクールに加え、増えつつある**中国の高校生日本語学習者対象の日本語作文コンクール**を行い、中国の青少年に日本文化に対する理解を深めてもらう。

8. **日本人の中国語作文コンクール受賞作品集を中国で出版**し、中国人に日本の人々の中国語学習の成果を示し、日本人に中国文化に対する理解を深めてもらう。

9. 『中国の発展に貢献した日本人と日本企業』というシリーズの書籍を編集出版し、中国で活躍する日本人ボランティアなどを紹介する。

10. 日本を旅行する中国人に、日本について、より多くより良い、正しい情報を提供するために、『戦後日本』などといった類の中国語書籍を贈呈し、中国人の日本社会についての認識と理解を促す。

---

日本僑報社・企画センター（創意中心）

171-0021東京都豊島区西池袋3-17-15 TEL 03-5956-2808 FAX 03-5956-2809

<http://duan.jp> [duan@duan.jp](mailto:duan@duan.jp) 担当:段躍中